

特別講演



■講演テーマ

地方創生と 大学の果たす役割

■講師

増田寛也氏

(野村総合研究所顧問、元総務大臣、元岩手県知事)

PROFILE

昭和26年12月20日 東京都生まれ
昭和52年3月 東京大学法学部卒業
昭和52年4月 建設省入省
昭和57年3月 千葉県警察本部交通部交通指導課長
昭和61年4月 茨城県企画部鉄道交通課長
平成 6年7月 建設省建設経済局建設業課紛争調整官
平成 7年4月 岩手県知事(～平成19年4月、3期)
平成19年8月 総務大臣(～平成20年9月)
平成21年4月 野村総合研究所顧問・東京大学公共政策大学院客員教授
著書:「地方消滅—東京一極集中が招く人口急減」中公新書

■講演内容

昨年来、人口減少問題について警鐘を鳴らしてきたが、日本の人口減少の背景には、婚姻数の減少や、晩婚化・晩産化と若者が大学進学や就職のために、子育てには不向きな東京に集中していることが挙げられる。一方、勝ち組と見える東京にも、高齢化の問題が存在する。こうした問題の解決には地方での人材養成や雇用の場の確保が重要であるが、その中で特に地方大学の果たすべき役割について考えてみたい。

本学教員による講演



■講演テーマ

長崎県における 新たな観光創造

■講師

西岡誠治

(長崎県立大学経済学部教授)

PROFILE

国土交通省北海道開発局帯広開発建設部次長、都市局都市計画課施設計画調整官などを経て、2011年都市局街路交通施設課整備室長。2012年広島市都市整備局長。2015年より現職。

■講演内容

今年7月に世界遺産登録された「明治日本の産業革命遺産」には県内8資産が含まれており、仮登録中の「長崎の教会群とキリスト教関連遺産」と共に、観光浮揚への効果が期待されている。さらに、長崎新幹線と西九州自動車道などの高速交通網の整備が県内観光のプラス要因と考えられる一方、我が国の人口減少と超高齢化は不安材料といえる。それらを踏まえて、長崎県における新たな観光創造とそれに果たす県立大学の役割について論じる。

主催／長崎県立大学

共催／長崎新聞社、佐世保地域経済活性化推進協議会

お申込みは本学ホームページもしくは裏面にご記入の上 FAX にてお申込下さい。

お問合せ



長崎県立大学
UNIVERSITY OF NAGASAKI

企画広報課

TEL.0956-47-5856

ホームページ

<http://sun.ac.jp/>

今、考える「地方創生」

長崎県立大学地域創造学部開設記念講演会

日時

平成27年 **10月6日** 火
13時30分～15時30分(開場12時30分)

会場

佐世保市体育文化館
コミュニティセンターホール

駐車場
あり

要事前
予約

入場無料

対象

どなたでも参加できます
(定員500名)



ホームページ



Facebook